

平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月25日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインホールディングス
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 011-814-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	57,819	10.9	2,281	△15.8	2,376	△17.7	1,371	△10.5
28年4月期第1四半期	52,146	20.3	2,710	58.7	2,886	58.1	1,533	52.7

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 1,384百万円 (△14.3%) 28年4月期第1四半期 1,615百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	43.25	—
28年4月期第1四半期	48.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第1四半期	139,149	53,440	38.4	1,683.53
28年4月期	139,888	53,324	38.1	1,679.69

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 53,380百万円 28年4月期 53,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年4月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	126,000	17.8	6,150	4.2	6,350	4.4	3,470	5.3	109.44
通期	265,000	12.8	16,300	11.5	16,700	10.2	9,000	13.7	283.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期1Q	31,888,212 株	28年4月期	31,888,212 株
29年4月期1Q	180,644 株	28年4月期	180,595 株
29年4月期1Q	31,707,568 株	28年4月期1Q	31,707,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年5月1日～平成28年7月31日）におけるわが国の経済は、企業収益及び個人消費に足踏みが見られるものの、雇用情勢は改善しており、景気は緩やかな回復基調で推移しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高が578億1千9百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は22億8千1百万円（同15.8%減）、経常利益は23億7千6百万円（同17.7%減）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億7千1百万円（同10.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

平成28年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局の評価が見直される一方、患者本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局となることが強く求められる内容となりました。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。また、平成28年4月に入社した375名の新卒薬剤師についても、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、514億3千8百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は34億3千7百万円（同8.2%減）と増収減益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計14店舗を出店し、1店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は894店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を継続的に実施するとともに、関連商品を中心とするMDの強化に取り組んでおります。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドを積極的に展開することにより、粗利率は向上しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、52億4千6百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント損失は1億9千4百万円（前年同期は1億2千4百万円の損失）となりました。

同期間の出店状況は、「アインズ&トルペ」の形態により、コレットマーレ桜木町B1店（横浜市中区）を出店し、1店舗を閉店したことで、ドラッグストア店舗総数は52店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は11億3千4百万円（前年同期比200.2%増）、セグメント損失は4億1千9百万円（前年同期は1億2千7百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より7億3千8百万円減の1,391億4千9百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金のほか、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴いたな卸資産が増加した一方で、売掛金が減少したことによるものであります。

負債の残高は、8億5千4百万円減の857億9百万円となりました。主な要因は、買掛金及び未払法人税等の残高が減少したことによるものであります。

短期及び長期借入金の残高は、13億8千万円増となる219億2千5百万円となりました。

純資産の残高は、1億1千5百万円増の534億4千万円となり、自己資本比率は0.3ポイント改善となる38.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月27日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,647,300	26,822,431
受取手形及び売掛金	12,385,821	7,621,773
商品	10,661,177	11,424,912
貯蔵品	323,473	312,506
繰延税金資産	1,149,432	1,156,197
短期貸付金	639,457	630,997
未収入金	5,983,629	6,087,113
その他	2,806,438	2,270,754
貸倒引当金	△3,337	—
流動資産合計	56,593,392	56,326,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,694,738	14,570,812
土地	9,537,493	9,517,808
その他(純額)	3,921,089	3,677,432
有形固定資産合計	28,153,320	27,766,053
無形固定資産		
のれん	33,337,372	33,308,599
その他	2,248,861	2,250,095
無形固定資産合計	35,586,233	35,558,695
投資その他の資産		
投資有価証券	2,677,643	2,582,301
繰延税金資産	2,038,851	2,084,421
敷金及び保証金	10,013,440	10,037,413
その他	6,062,530	6,031,400
貸倒引当金	△1,237,174	△1,237,174
投資その他の資産合計	19,555,292	19,498,362
固定資産合計	83,294,846	82,823,110
資産合計	139,888,239	139,149,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,987,595	38,320,139
短期借入金	5,690,001	8,477,116
未払法人税等	4,448,862	909,903
預り金	10,112,896	12,480,041
賞与引当金	1,633,520	1,429,275
役員賞与引当金	13,590	6,378
ポイント引当金	390,200	400,408
返品調整引当金	15,815	12,839
その他	4,452,428	5,264,204
流動負債合計	66,744,908	67,300,305
固定負債		
長期借入金	14,854,307	13,448,146
退職給付に係る負債	2,228,446	2,256,956
その他	2,735,964	2,703,875
固定負債合計	19,818,717	18,408,978
負債合計	86,563,626	85,709,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	6,367,844	6,367,844
利益剰余金	38,605,783	38,708,884
自己株式	△419,311	△419,598
株主資本合計	53,237,293	53,340,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,296	△36,042
退職給付に係る調整累計額	84,867	76,696
その他の包括利益累計額合計	21,570	40,653
非支配株主持分	65,748	59,750
純資産合計	53,324,613	53,440,512
負債純資産合計	139,888,239	139,149,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	52,146,536	57,819,476
売上原価	44,330,521	48,865,278
売上総利益	7,816,015	8,954,198
販売費及び一般管理費	5,105,544	6,672,530
営業利益	2,710,470	2,281,667
営業外収益		
受取利息	6,737	16,586
受取配当金	21,361	20,848
受取手数料	17,605	8,628
不動産賃貸料	43,360	57,203
業務受託料	45,255	34,877
その他	112,670	47,662
営業外収益合計	246,992	185,805
営業外費用		
支払利息	20,105	32,772
債権売却損	19,595	15,862
不動産賃貸費用	21,898	22,242
その他	9,500	20,251
営業外費用合計	71,100	91,128
経常利益	2,886,361	2,376,345
特別利益		
固定資産売却益	762	3,513
受取保険金	4,391	36,908
投資有価証券売却益	—	150,400
特別利益合計	5,153	190,821
特別損失		
固定資産除売却損	71,476	58,411
減損損失	79,009	—
その他	2,719	26,657
特別損失合計	153,204	85,068
税金等調整前四半期純利益	2,738,311	2,482,098
法人税等	1,194,484	1,116,690
四半期純利益	1,543,826	1,365,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,706	△5,998
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,533,119	1,371,406

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	1,543,826	1,365,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,789	27,253
退職給付に係る調整額	6,479	△8,171
その他の包括利益合計	71,269	19,082
四半期包括利益	1,615,095	1,384,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604,389	1,390,488
非支配株主に係る四半期包括利益	10,706	△5,998

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,783,003	4,985,685	377,847	52,146,536	—	52,146,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	78,042	78,042	△78,042	—
計	46,783,003	4,985,685	455,890	52,224,579	△78,042	52,146,536
セグメント利益又は損失(△)	3,745,637	△124,978	△127,526	3,493,132	△606,770	2,886,361

(注) 1. セグメント利益の調整額△606,770千円には、全社費用が626,622千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が11,248千円、セグメント間取引消去が△31,099千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,438,259	5,246,834	1,134,382	57,819,476	—	57,819,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	94,232	94,232	△94,232	—
計	51,438,259	5,246,834	1,228,614	57,913,708	△94,232	57,819,476
セグメント利益又は損失(△)	3,437,257	△194,511	△419,624	2,823,121	△446,775	2,376,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△446,775千円には、全社費用が822,252千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△359,661千円、セグメント間取引消去が△15,816千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。